

Question	Answer
共創パートナーの候補がいる場合でも、事業実施前であれば「0→1」のコースへの応募で問題無いでしょうか？	原則として、既に共創パートナー（候補を含む）がいる場合は、「1→10」コースへのご応募をお願いします。
0→1の場合、実施可能性があるテーマが複数ある場合、全て記載することが可能でしょうか。	複数のテーマをご記載いただくことは可能です。 ただし、本事業では事業化を見据えた支援を行うため、実現したいテーマや優先順位が明確であることが望ましいと考えています。また、本事業において取り組むことを前提としたテーマを記載してください。 採択後は事務局とのコンセプト設計を通じて、重点的に取り組むテーマを整理していきます。
パートナーは企業等とあったかと思いますが大学でも可能でしょうか	パートナー企業は、大学も可能です。 ただし、原則として、以下の要件を満たすことを前提としています。 ・契約や会計処理等が可能な法人格を有すること ・プロジェクトを推進する主体が大学内で認定・承認を受けていること ・収益性を見据えた事業であること
複数のスポーツ団体で連携して応募することはできますか？	応募可能です。 ただし、以下の要件を満たすことを前提としています。 ・事業を推進する主体を明確にして、主体となるスポーツ団体が応募すること ・他産業と連携している事業であること
パートナー企業の候補のめどはあるものの、パートナー企業側の最終決裁や予算確保ができていない場合（Dropする可能性もある場合）も、応募は可能でしょうか。	応募は可能です。 ただし、審査では実施体制も評価対象としているため、事業を確実に推進できる体制であることが重要です。 本事業では、事業創出・拡大に向けた伴走支援において、実証に係る支援も予定しておりますので、原則として事業を最後まで実施できる体制でのご応募をお願いします。
パートナー企業を数社想定、接触はスタートしていますが、更に広く募集して行きたい場合、0→1でも良いでしょうか？	可能です。 パートナー候補との接点があっても、広く共創パートナーを探索・募集したい場合は、「0→1」コースへのご応募をご検討ください。
審査基準の①（収益性の向上）に関して、本事業期間内での収益性でしょうか？または、本事業後に想定できる収益性を指していますでしょうか？	本事業では、事業期間内に収益化につながる取組や成果を第一に期待しています。 一方で、事業の特性上、期間内での収益化が難しい場合は、本事業終了後の収益化に向けた具体的な事業計画や収益モデルを示していただくことも重要な評価要素となります。 また、そのようなプロジェクトについては、事業終了後であっても、成果把握のため、事務局によるヒアリングやフォローアップにご協力をお願いします。
スポーツ×テクノロジー活用展開事業およびスポーツオープンイノベーションプラットフォーム推進事業の双方に応募することを検討しております。同一もしくは派生する取組において、両事業へ応募することは可能でしょうか。	各事業において応募要件を満たしており、趣旨と合致している場合、両事業への応募は可能です。